

10月16日

野坂岳

竹原 順治

山名	野坂岳		山行名	個人山行	
ルート	国立病院～登山口～一、二の岳～山頂～二、一の岳～登山口～栗野駅				
山行日	2021年10月16日		天候	晴れのち曇り	
参加者	リーダー：竹原順治 女性：伊藤多恵子、秋山正子、幾田邦江、蒲田史、上田秀子、竹原絹栄、倉光展子、日野れい子 男性：佐々木康治		サブリーダー：大林京子 合計： 11 名		
ルート概略図 標高 913m	コースタイム				
			地名	時：分	地名
国立病院	発	9：50	二の岳	着	14：00
				発	
登山口	着	10：40	一の岳	着	14：15
	発	10：50		発	14：20
一の岳	着	12：05	登山口	着	15：20
	発	12：35		発	15：35
二の岳	着	12：55	JR 栗野駅	着	16：05
	発			発	
野坂岳山頂	着	13：20		着	
	発	13：40		発	
山行報告					
<p>京都駅 7:00 発に乗車、敦賀駅でバスに乗換え、2時間 45 分で今回山行の出発点である国立病院に無事到着。登り基調の舗装道約 3.2km を歩行して登山口(標高 190m)に到着。キャンプ場のトイレを使い、各自ストレッチ等で山行準備完了。登山口からほぼ 100m の舗装した直線の急な登り道がまず登山者を迎えてくれる。それを過ぎれば谷筋の落葉と小石の山道となり、等高線とほぼ直角な登りが続く。3カ所の沢を横切り、20分毎の小休止を取りながら約 1km 進めばジグザグの急登を経て尾根筋に至り、所々で樹木の間から敦賀市街の景観が望める岩場の道になる。小休止で一口サイズの焼鯖寿司が振舞われ頬張る。更に続く急坂を登り切った所が一の岳(標高 730m)。ここで昼食。デザートに柿、リンゴ、ブドウ等秋の味覚が振舞われる。感謝感激！ごちそうさまでした。ここからの 30 分はやや勾配が緩くなり、やがて緩やかな稜線歩きになれば二の岳(標高 820m)に到着。立ち休憩で一息入れる。あとひと汗で避難小屋を経てすぐに頂上(標高 913m)でした。頂上は一等三角点標石のある広場でその真ん中に方位地図が据え付けられていて、360 度の景観が楽しめた。真北方向敦賀半島の山並みをはさんで右に敦賀湾、左に若狭湾、視線を西に転じると三方五湖まで遠望できる。南には高島分水嶺の比良山系の山々が連なり、奥琵琶湖の湖面もかすかに見える。東には横山岳等湖北の山々が連なり、その向こうは伊吹のはずだが曇り空に霞んで見えなかった。眺望を楽しみ、集合写真を撮って、登ってきた道を下山する。ナナカマドの赤い実、名前不詳の青い実の木々、可憐なヨメナ等、秋の草花を楽しみながら登山口に帰着。JR 栗野駅へは予定より約 10 分早く到着し、余裕を持って予定していた小浜線の 2 両編成の敦賀行きのローカル電車に乗れました。</p>					
ヒヤリハット： 下山時の転倒・滑落					



感想文

日野れい子

敦賀富士と富士の名がつくだけに、アスファルト道を歩きながら眺める山の稜線は美しく見えます。登ってみると幅もある登山道は手入れが行き届いて、歩きやすい道になっていました。

途中現れる、トリカブトの群生はあちこちに広がり、最盛期はとてもきれいなんだろうなと思わせてくれます。他、名も知らぬ小さな花々はホッとさせてくれます。

その日は雨の心配をよそに、蒸し暑い日で汗を拭き拭き登ると、ブナ林からの吹く風がこちよかったです。山頂は360度開け、それも広く開放感いっぱいです。

私たち以外、幾人かはその広場でゆっくりしていて、バーベキューを楽しむ父子さんもおられました。

そして、こちらではリクエストにお答えいただき名人に自慢の声を披露いただきました。

歌詞カードなしで一曲軽々歌い終わり、さすがでした。

最後、集合写真を撮る時、あのバーベキューのお父さんをお願いしました。

とても丁寧にシャッターチャンスをねらってください、

「皆さん、笑顔で！」の一言で、この全員笑顔の写真ができあがったのです。

こころ打たれる一枚に仕上がっていると思いませんか？